

表計算ソフト操作キャプチャツール 取扱説明書

目次

1 . はじめに.....	1
2 . 動作確認環境.....	2
3 . 教材の構成.....	2
4 . ツールの起動～課題実施の流れ.....	3
5 . 課題データの編集.....	11

1.はじめに

パソコンでの各種アプリケーションの操作の習得に係る訓練は一般的にセミナー形式(集団訓練)で実施されることが多いですが、障害のある方の訓練では、それぞれに状況が異なることから、訓練生が個々にテキストによる学習を進め、必要に応じてテクノインストラクターが助言・解説する形式(個別訓練)で行うことが多くあります。しかしながら個別訓練の場合は、訓練生の進捗がまちまちであることから、「訓練生の技能習得の程度を把握するために作業遂行(アプリケーション操作)の様子を観察する」といったことが、担当する訓練生の数が増えれば増えるほどタイムリーに行えない、という問題が生じます。

本ツールは、表計算ソフト(Excel)の訓練における上記のような問題の対応策として作成しました。

テキストによる学習後の演習問題への取組み(操作)状況を動画として記録することで、テクノインストラクターがリアルタイムに観察できなかった場合でも、後から動画を確認することで、対象訓練生の理解度・習熟度の把握ができます。

加えて、対象訓練生と一緒に動画を確認することで、操作の効率化のポイント等を視覚的に繰り返し説明できる、ということも可能です。

更に、同一の演習問題に繰り返し取組み、それらの動画ファイルの記録時間(長さ)を時系列に参照することで、操作習熟の推移を対象訓練生自身とテクノインストラクターの双方で確認することもできます。

これらの運用は、テキストによる学習の場面のみならず、各種の検定対策の場面でも同様に行えると言えます。

また、遠隔訓練のための体制整備の必要性が叫ばれる昨今においては、無料のクラウドサービスと本ツールを併用し、例えば、その日に訓練生が自宅で行った訓練の成果物を動画として、テクノインストラクターあて提出する、といった活用も期待できます。

Windowsの標準機能を流用したツールであり、その仕様から一部録画動作に制約もありますが、ご活用いただければ幸いです。

2 . 動作確認環境

- ・本ツールは、Windows10 バージョン 1809 以降の「ゲーム バー」という標準機能を使用します。ツールお試しになる前に、まずお使いの PC のバージョンをご確認ください(スタートボタン 設定 バージョン情報)。



- ・また、本ツールは Microsoft Excel 2016 で作成された xlsx 形式のファイルであることから、起動には Microsoft Excel 2010 以上がご使用の PC にインストールされている必要があります。
- 現時点までに、Windows10 上の Excel 2016(64bit、32bit 双方)および 2010 (32bit) 上での動作を確認しています。
- ・画面の解像度は 1920 × 1080 を想定しています。

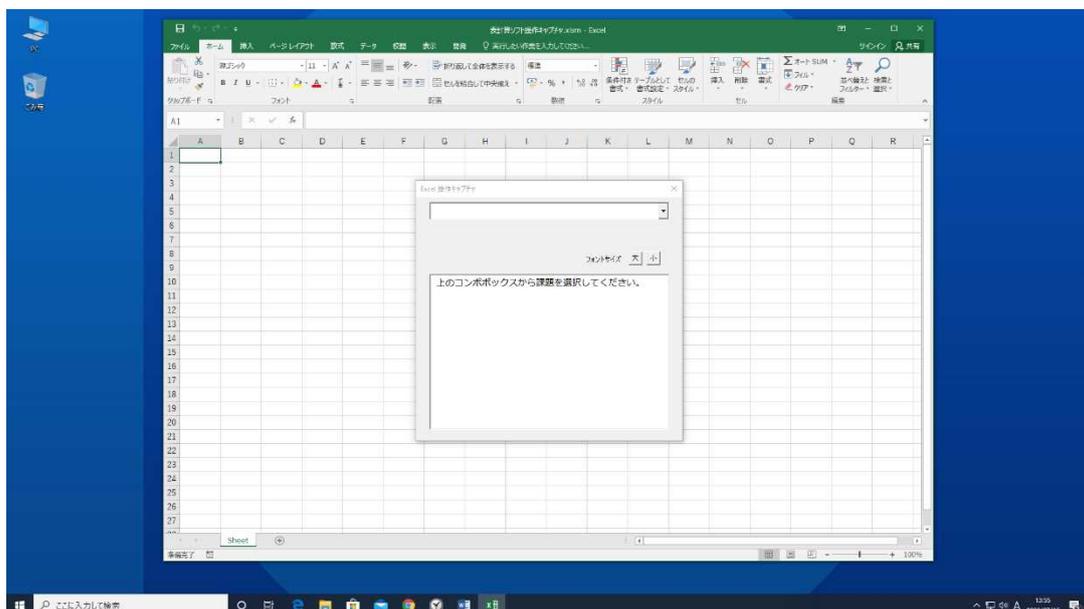
3 . 教材の構成

- ・本ツールは以下のファイルおよびフォルダで構成されます。
 - 「表計算ソフト操作キャプチャ」ファイル 本体となる xlsx 形式ファイル
 - 「data」フォルダ 事前に提示される「課題ファイル」を保存するフォルダ
 - 上記下層の「pct」フォルダ 作業結果の見本画像を保存するフォルダ
- ・上記 と は必ず同じ場所(パス上)に保存してください。

- ・「pct」フォルダに保存する画像ファイルは必ず JPG 形式としてください。
ツールの初期状態においては、サンプルとなる課題を 2 つ記録してあります。そのため、上記 にはそれらサンプル課題に必要なデータが予め保存されていますのでご了承ください。

4 . ツールの起動～課題実施の流れ

- ・ ツール（「表計算ソフト操作キャプチャ」ファイル）を起動すると、Excel の起動に合わせて一瞬下記のような（「ゲーム バー」のコンソールが表示されている）状態になり、間もなく Excel ウィンドウおよび「Excel 操作キャプチャ」フォーム（以下、「メインフォーム」と言います。）が表示されます。



- ・もし、下記のように「セキュリティの警告」が表示された場合は、「コンテンツの有効化」ボタンをクリックしてください。

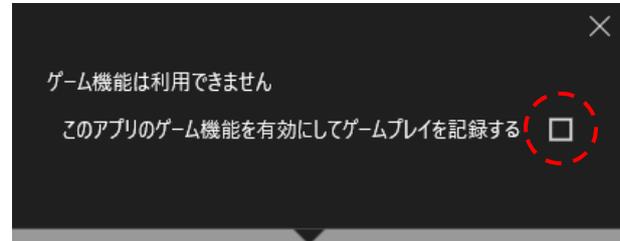


お使いのパソコンで「ゲーム バー」を使用したことがなく、本ツールで初めて起動される場合、右図のような初回限定のスクリーンが表示されることがあります。

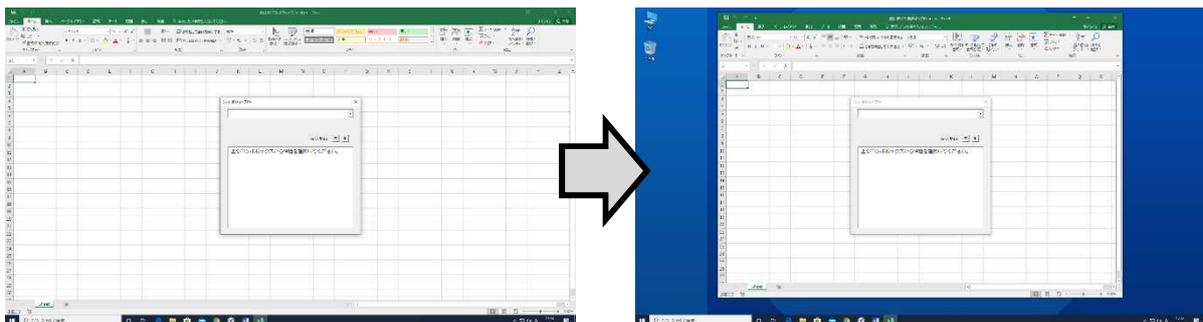
その場合は中央下の「了解」をクリックし、一度本ツールを終了し、再度開いてください。



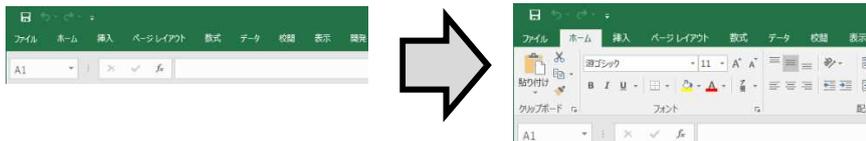
また、画面左上に右図のようなメッセージが表示された場合は、チェックボックスをオンにします。その後は本ツールを一度終了し、再度開いてください。



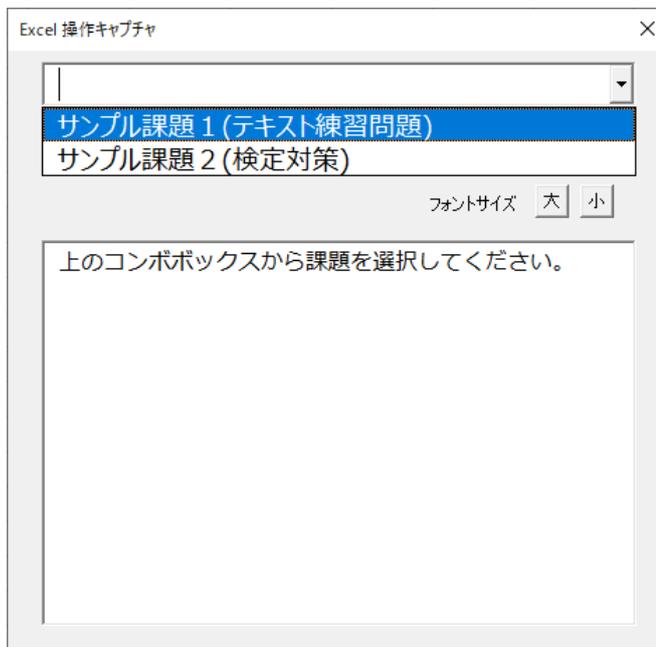
- ・Excel ウィンドウが表示されたのち、最大化されている場合は、元のサイズに戻しておいてください。



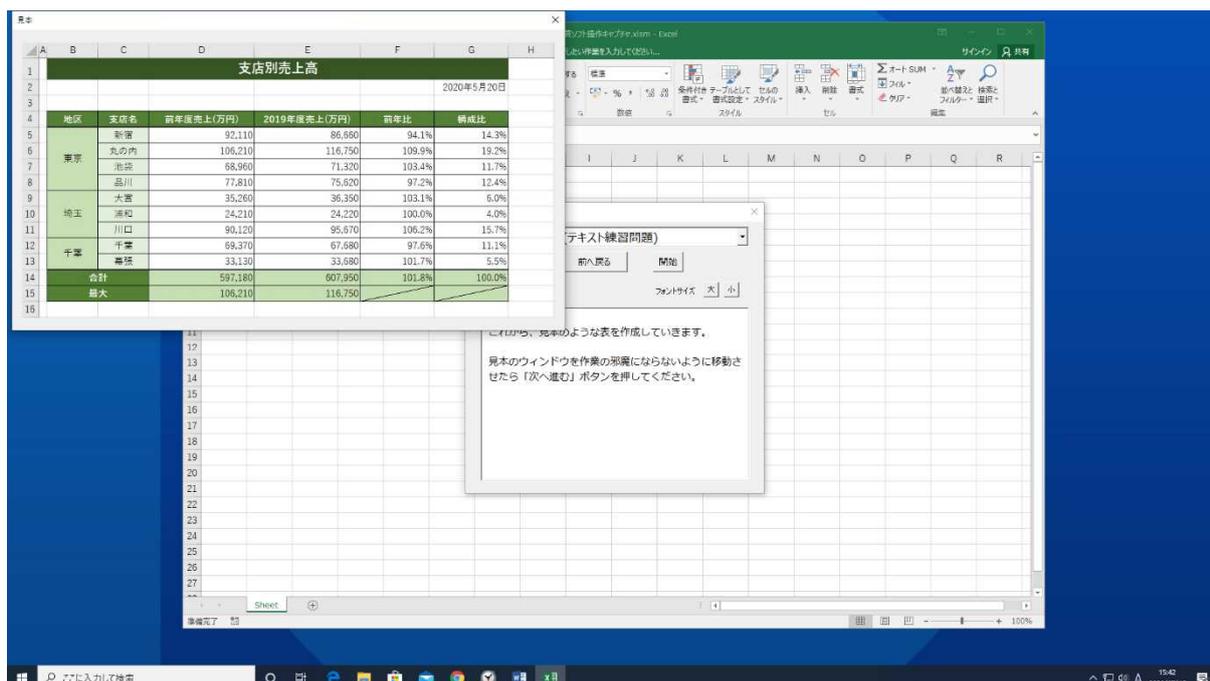
- 加えて、Excel ウィンドウのリボンは折りたたまずに表示しておきます。

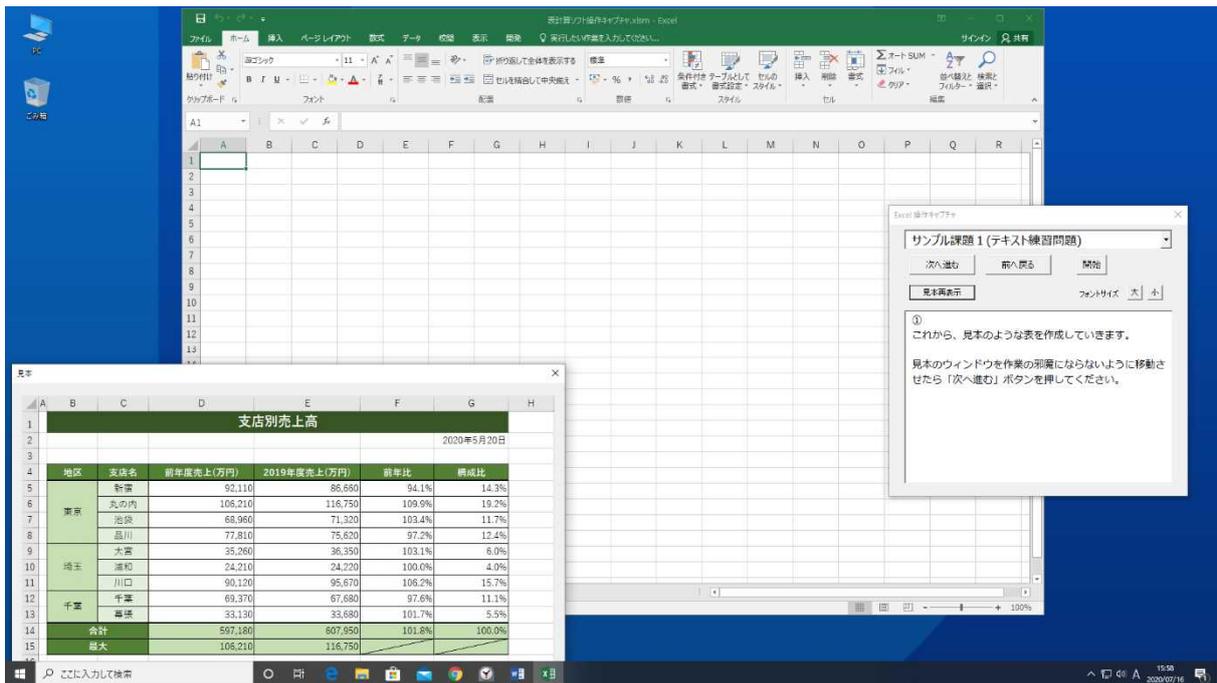


- 画面上に表示されたメインフォームのコンボボックスを展開し、実施する課題をクリックして選択します（今回は「サンプル課題 1」をもとに説明します）。
- なお、フォーム下部のテキストボックスに表示される文字の大きさは、「フォントサイズ 大/小」ボタンで調整することができます。



- 課題が選択されると、以下のような状況になります。見本画像が表示されたフォーム（以下、「見本」と言います。）とメインフォームが重なるので、メインフォームの指示内容のとおり、作業しやすいように各フォームを移動します。

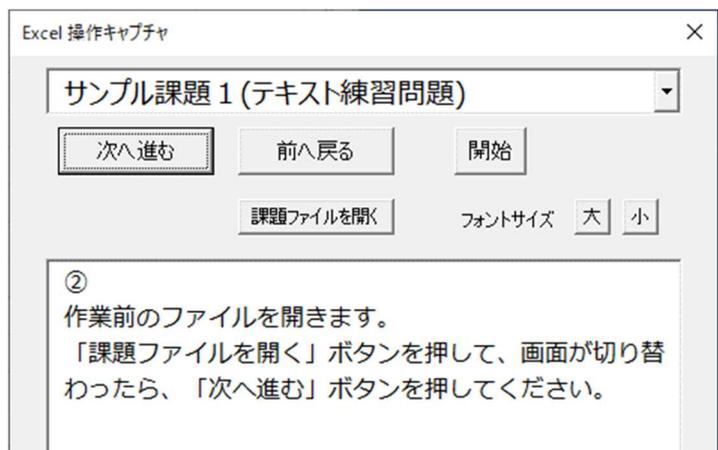
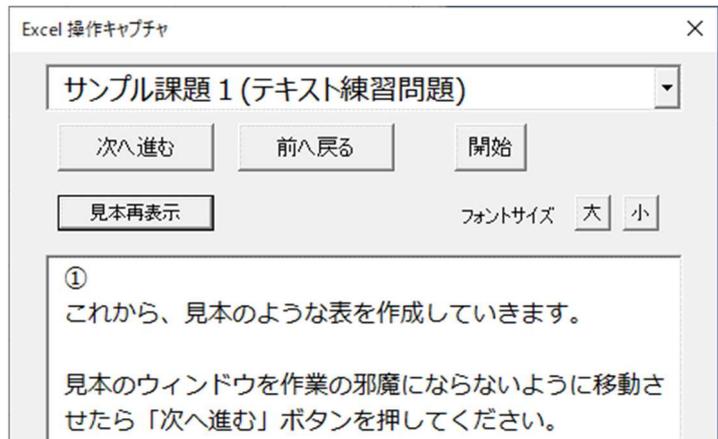




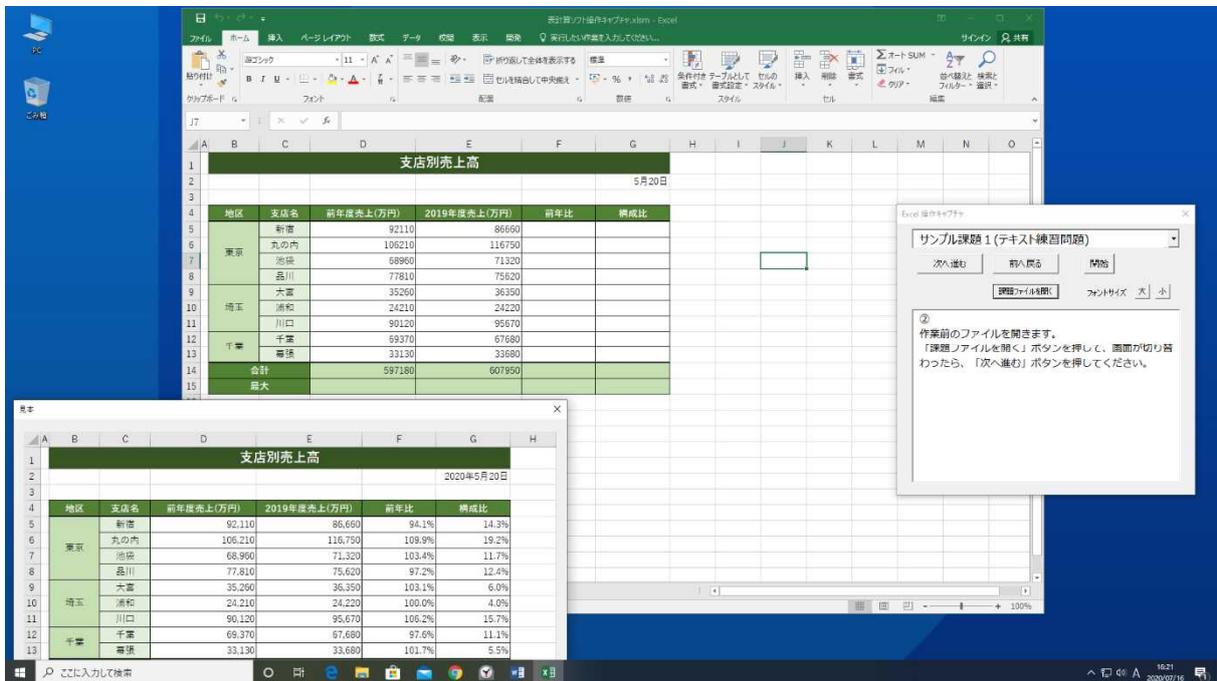
・もし、見本を閉じてしまった場合は、メインフォームの「見本再表示」ボタン()をクリックすることで再表示できます。

・各ウィンドウの配置が整えられたら「次へ進む」ボタン()をクリックします。

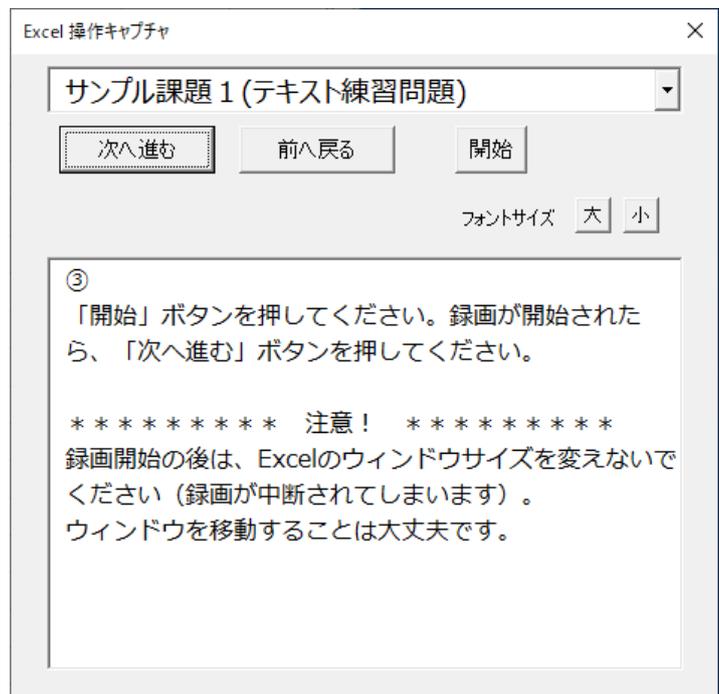
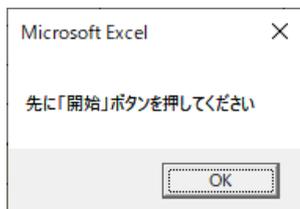
・メインフォームが次の指示に切り替わります。指示内容のとおり、作業前の課題ファイルを開くため、「課題ファイルを開く」ボタン()をクリックします。



- ・ Excel ウィンドウに、課題ファイルの内容が表示されます。その後、「次へ進む」ボタンをクリックします。

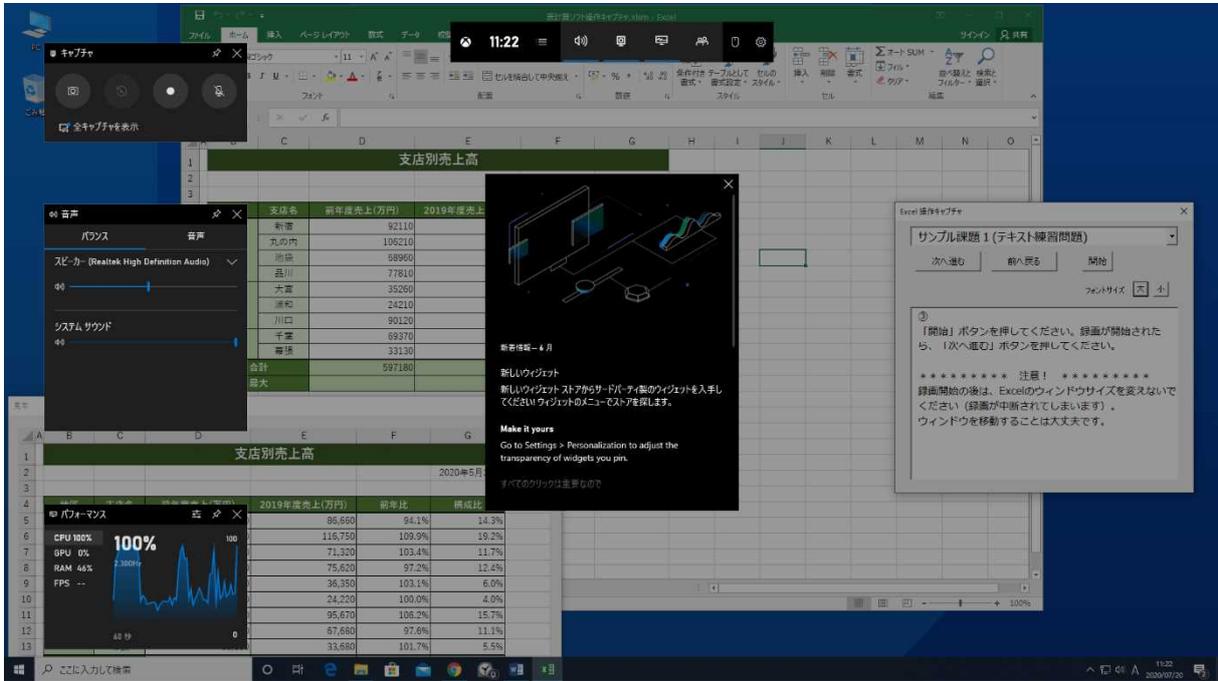


- ・ メインフォームが次の指示に切り替わります。これ以降の Excel ウィンドウ上での作業を録画するために「開始」ボタン () をクリックします。
「開始」ボタンがクリックされなければ以下が表示され「次へ進む」ことができません。

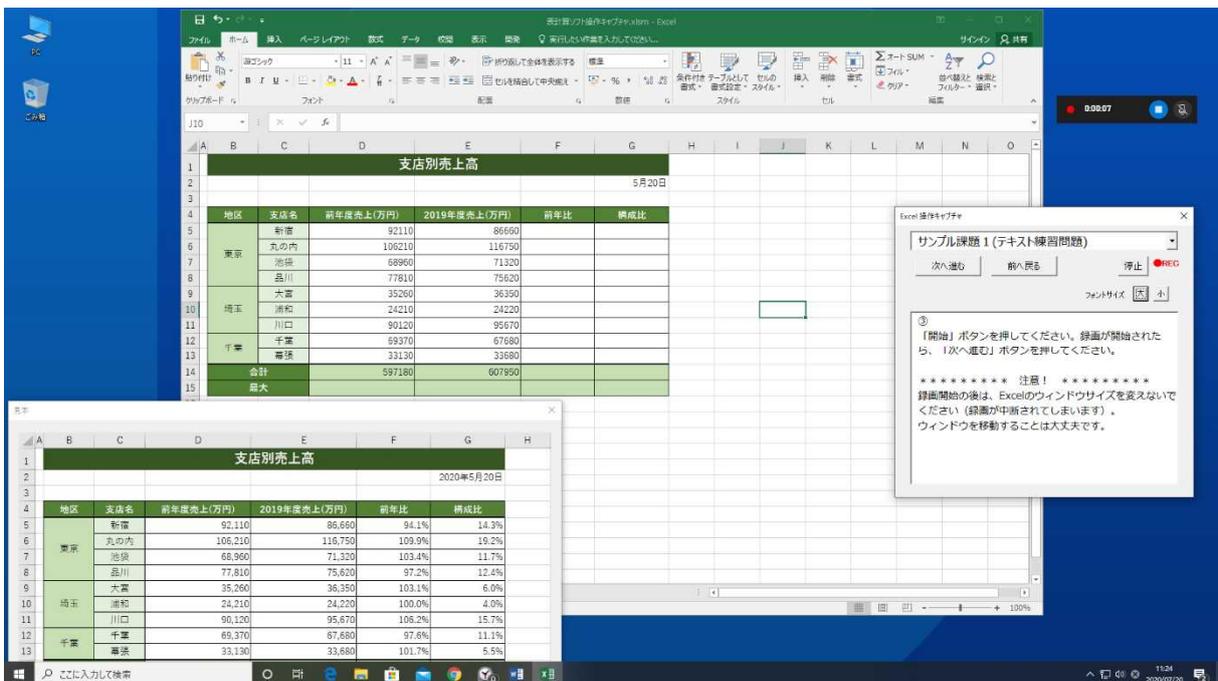


メインフォームにも記載のとおり、録画中、Excel ウィンドウを最大化するなど、Excel ウィンドウ自体のサイズが変更されると、「ゲーム バー」の仕様により、録画が強制的に停止してしまいますので、その旨、対象訓練生に注意喚起ください。

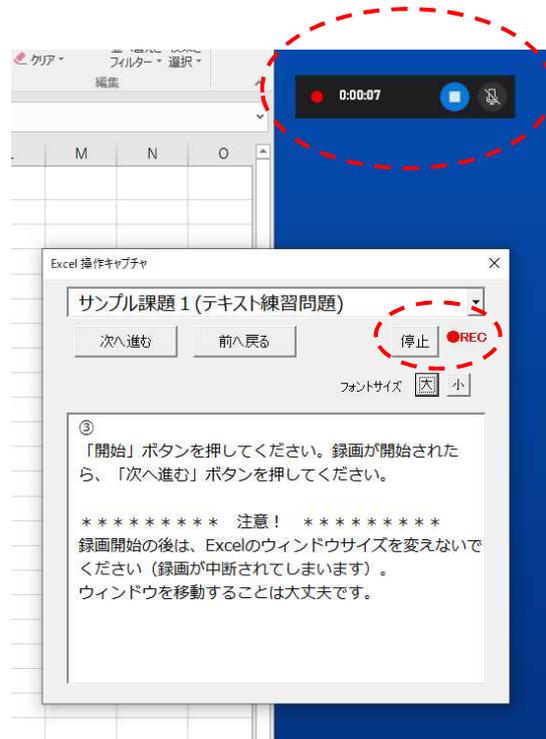
- ・「開始」ボタンがクリックされると、再び一瞬下記のような（「ゲーム バー」のコンソールが表示されている）状態になり、



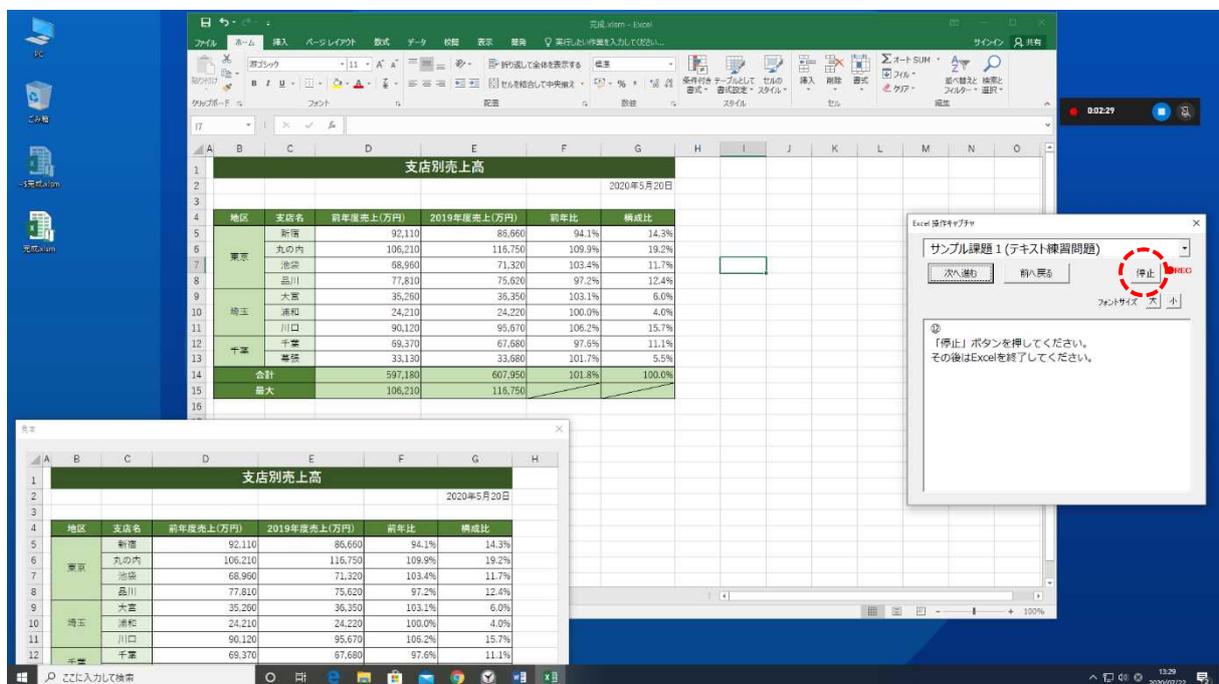
続いて、下記のような（Excel ウィンドウの動きが録画されている）状態に遷移します。



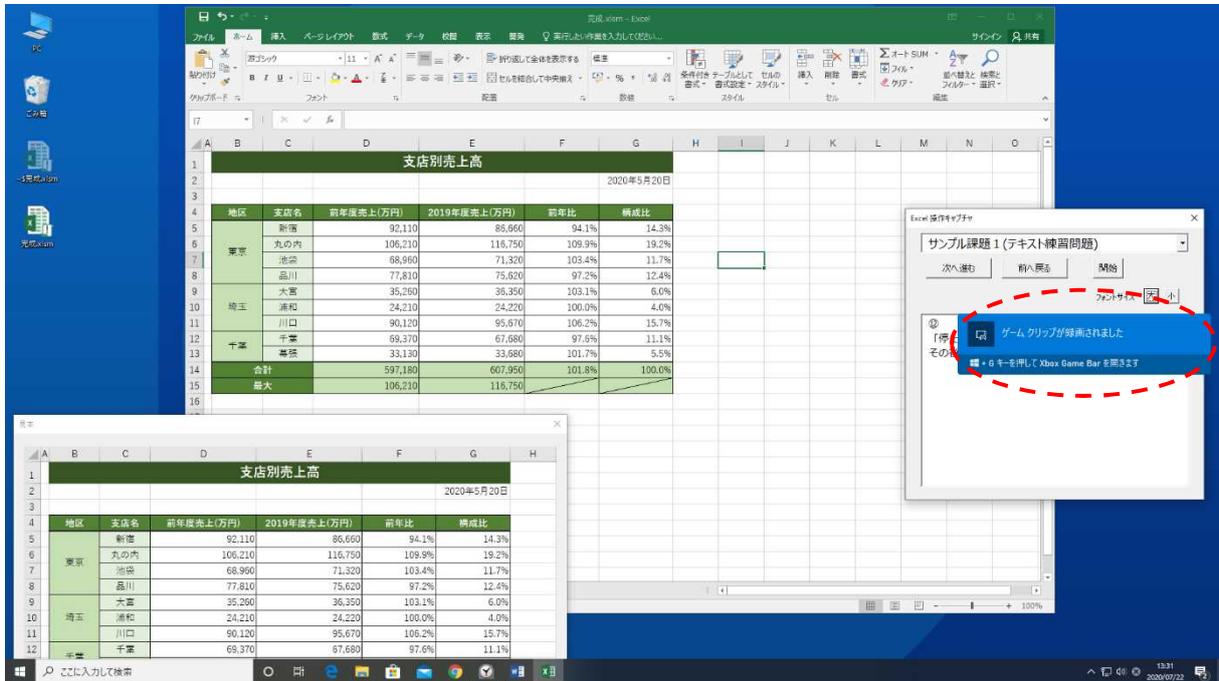
- 録画中は右図のように、メインフォームには「REC」と「停止」ボタン、画面の右上には「ゲームバー」のカウントが表示されます。
録画の停止（「停止」ボタンの押下）については、課題指示の最後に表示されます（後述）。



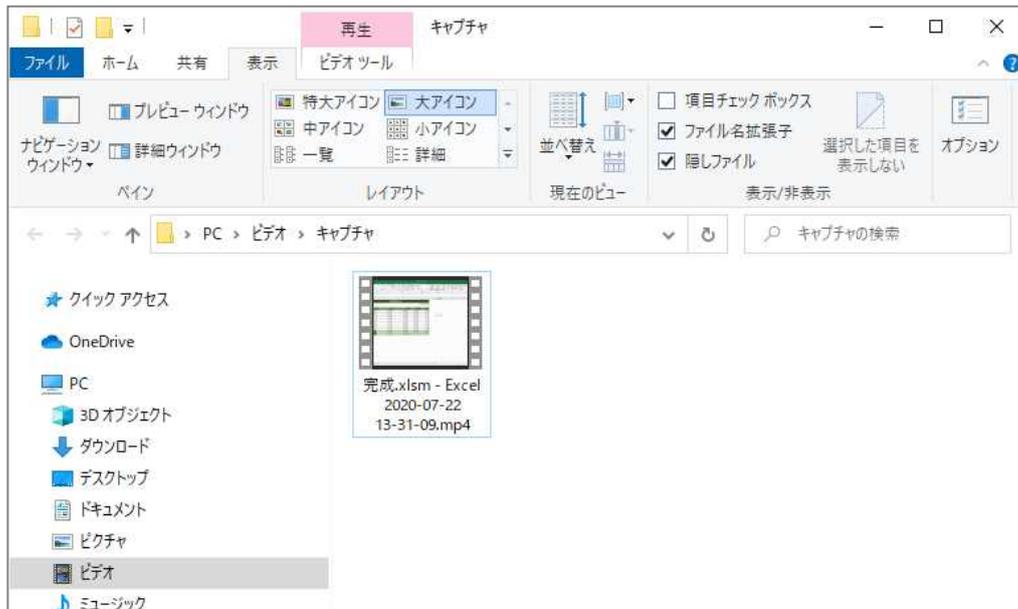
- 以降は、メインフォームに表示される指示内容を順次処理していき、最後の指示（「停止」ボタン押下）が表示されたら、「停止」ボタンをクリックし、録画を停止します。



- ・「停止」ボタンがクリックされると、画面右に、動画ファイルが保存された旨のメッセージが一時的に表示されます。



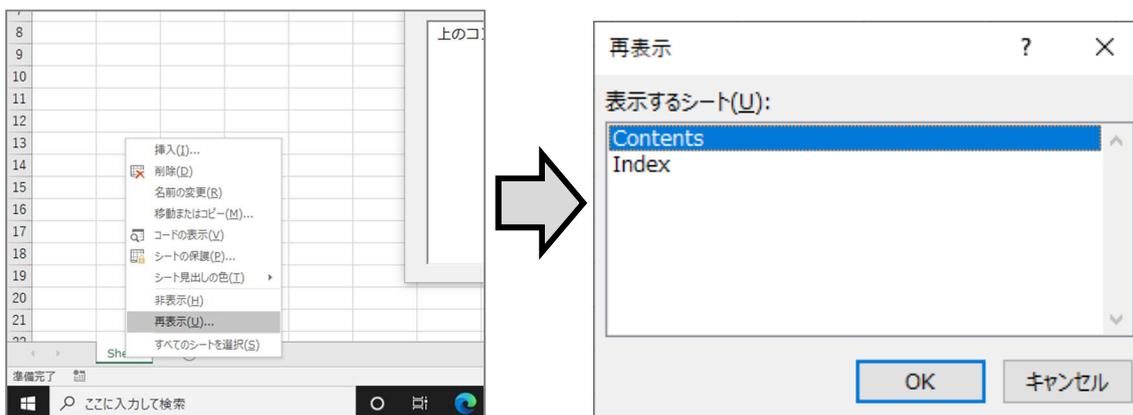
- ・録画された動画ファイルの保存先は、PCの「ビデオ」フォルダ中の「キャプチャ」フォルダになります（下図参照）。



- ・この「キャプチャ」フォルダは「ゲーム バー」の保存先として紐づけられているため、実際の運用では、デスクトップにこのフォルダへのショートカットを作っておくことが望ましいと思われます。

5. 課題データの編集

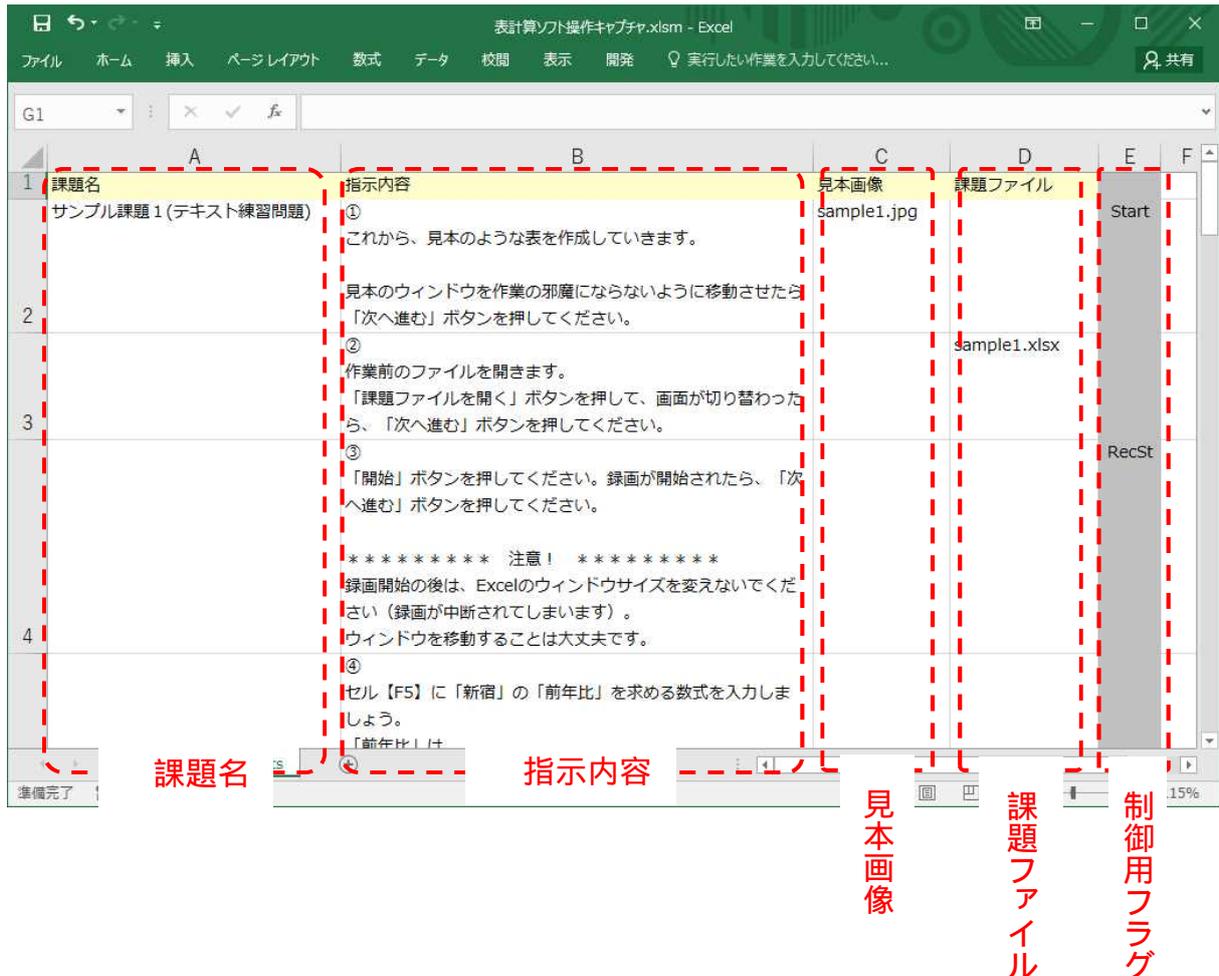
- ここからはメインフォームに表示される各課題データの編集について説明します。
- 課題データは、予め非表示になっている「Contents」シートに保存されています。編集にはまず当該シートを表示します。



- 「Contents」シートの内容は下図のようになります。

	A	B	C	D	E	F
1	課題名	指示内容	見本画像	課題ファイル		
2	サンプル課題1(テキスト練習問題)	① これから、見本のような表を作成していきます。 見本のウィンドウを作業の邪魔にならないように移動させたら「次へ進む」ボタンを押してください。	sample1.jpg		Start	
3		② 作業前のファイルを開きます。 「課題ファイルを開く」ボタンを押して、画面が切り替わったら、「次へ進む」ボタンを押してください。		sample1.xlsx		
4		③ 「開始」ボタンを押してください。録画が開始されたら、「次へ進む」ボタンを押してください。 ***** 注意! ***** 録画開始の後は、Excelのウィンドウサイズを変えないでください(録画が中断されてしまいます)。ウィンドウを移動することは大丈夫です。 ④ セル【F5】に「新宿」の「前年比」を求める数式を入力しましょう。 「前年比」は			RecSt	

- シートの記載の仕方で、メインフォーム上での各ボタンの表示がコントロールされるようになっています。以下、その内容を説明します。



課題名

メインフォームのコンボボックスに表示される課題名になります。当該課題の最初の「指示内容」の行に入力します。ツール更新（後述）後、課題名が入力されている行の制御フラグが「Start」になります。

指示内容

メインフォームのテキストボックスに表示される指示内容になります。既にサンプル課題の中に設けてある、「見本を参照する」や「作業前のファイルを開く」、「録画を開始する」、「録画を停止する」旨の指示は、そのまま流用いただくことが望ましいです。

特に録画開始の旨の指示内容については、ツール更新時、指示内容の文中に「録画を開始」との文言がある行を検出して、その行の制御フラグを「RecSt（「録画開始」ボタンの表示に関わる）」にするため、上記文言を変更しないようにご注意ください。

見本画像

指示内容が「見本を参照する」旨である際の、見本画像のファイル名が入ります。実際の画像ファイルは既述のとおり、本ツールと同じパス上にある「data」フォルダ内の「pct」フォルダに保存してください。

なお、見本画像ファイル名が入力されている行の指示内容がメインフォームに表示される際には、メインフォーム上に「見本再表示」ボタンが出現します。

課題ファイル

指示内容が「作業前のファイルを開く」旨である際の、課題ファイルのファイル名が入ります。実際の課題ファイルは既述のとおり、本ツールと同じパス上にある「data」フォルダに保存してください。

なお、課題ファイル名が入力されている行の指示内容がメインフォームに表示される際には、メインフォーム上に「課題ファイルを開く」ボタンが出現します。

制御フラグ

上記までに説明したとおり、メインフォームの表示をコントロールするためのフラグが表示されます。この部分は、ツールの起動時に自動的に更新されるため、ユーザーが編集する必要はありません。

- ・ ツール更新は、本ツールを再起動することで完了します。課題データの編集後は上書き保存したのち、一度本ツールを終了し再度開いてください。